



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第84号(2011年1月31日)



【世界一高層のレストランと、世界一高層のマンション】

1月23日に、世界一高い場所にあるレストラン「アトモスフィア」がオープンしました。昨年完成した世界一の高層ビル「ブルジュ・ハリファ」の122階で、地上442メートルの高さになるそうです。

レストランによれば、ディナーは一人あたり最低450ディルハム(約1万円)は必要とのことで、個室の場合は一人あたり最低650ディルハム(約1万5千円)必要だそうです。

運営するのはブルジュ・ハリファの開発を手がけた不動産大手エマール・プロパティーズの関連会社のエマール・ホスピタリティ・グループで、同社CEOのMarc Dardenne氏は、「アトモスフィアの開店により、ドバイと、そしておそらく世界にとっても新しいスタンダードを築いている」、「そして、訪れた人々にもドバイ滞在中にいくぶん違ったものを見ていただける機会を提供できる」と話しています。値段は高いとされている一方で、オープンから2日間は予約でいっぱいとなり、Dardenne氏は人気が続くと自信をみせているとのことです。

一方で、世界でもっとも高いタワー型マンションの一つである「プリンセス・タワー」が今年末までにドバイ・マリーナに建設されるそうです。同マンションは107階建てで、完成後は414メートルもの高さになるそうです。当初は90階の計画であったものの、同じドバイマリーナにいくつもの100階建てクラスの超高層ビルが建設中のため、107階建てに変更されたそうです。

「プリンセス・タワー」は販売価格がもっとも高価なマンションの一つとしても知られており、開発にあたったTameer社によれば、エントランスホールはホワイトゴールドで、ダイヤモンド、ルビー、サファイアなどが散りばめられているとのことです。ビルの外観は、Tameer社のWeb (<http://www.tameer.net/princesstower/>)で見ることができます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイのインフレは鈍化】

先進国におけるデフレの懸念と途上国におけるインフレの懸念が一般化しつつある中で、2010年のドバイのインフレ率は0.55%と、2009年の4.03%と比べて大幅に鈍化しました。12月のインフレ率は前年同期と比べて0.31%の上昇となりましたが、単月のインフレ率としては、11月のプラス0.10%から12月はマイナス0.26%となりました。

2010年は、ガソリン価格の上昇を受けて輸送費は前年比6.64%上昇した一方で、食料品の価格は同1.9%の上昇に留まりました。

ドバイ政府当局は食料品の価格を抑えるよう供給者に要請をするとされており、この春には食料品価格が下落することが見込まれています。

【ドバイ・ショッピング・フェスティバル】

1月20日にドバイ・ショッピング・フェスティバルという一大イベントが始まりました。今年で16回目の開催となり、2月20日までの約1ヶ月間、様々なイベントが行われます。

ドバイはショッピングのメッカとしても知られていますが、フェスティバル中は多くのお店でバーゲンが行われます。

また、このお祭りの目玉の一つがいわゆる宝くじですが、トヨタはLexus Mega Raffleという名前で毎日Lexusと現金があたるくじを、日産はNissan Mega Raffleという名前で自社のSUVがあたるくじを協賛しています。

また、街の中心部のみならず郊外でもイベントは行われ、たとえば、テントを借りて砂漠でキャンプをしたり、らくだに乗ってみることができるようです。この辺りは、他の都市のお祭りとはまた違った、ドバイ特有の楽しみと言えそうですね。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【2022年ワールドカップ】

2022年大会の開催地がカタールに決まりましたが、灼熱下での開催を避けるために、開催時期を冬に変更することが検討されています。

通常は6月から7月にかけて開催されますが、カタールではその時期は気温が37度を下回ることもまれで、選手の健康問題についての懸念が出ています。

一方で、仮に開催時期を冬にした場合、通常8月から5月にかけて行われる欧州のサッカーシーズンに影響を与えることとなります。これまでにワールドカップが6月、7月以外の時期に開催されたことはなく、仮に冬に開かれる場合は欧州のクラブのスケジュールを変更しなければなりません。

FIFAとクラブのトップチームとの対立が深まる可能性も指摘されています。

カタール政府は、冷房付きのスタジアムを作って夏に開催するという計画を変更しないとしているものの、開催地決定の投票の前から開催時期の変更が議論されていたという関係者の証言もあり、今後の成り行きが注目されます。

【ナンバー・ポータビリティ】

日本でも以前、携帯電話サービス各社の競争の起爆剤になると期待されたナンバー・ポータビリティがアラブ首長国連邦でも実施されます。同国の監督官庁高官の発言として、3月までに実施されるであろうとGulf News紙が伝えています。

一方で、現状ではアラブ首長国連邦には携帯電話サービスを展開する会社は2社しかありませんが、3社目の参入は現状では認められないとのことです。

以前はEtisalat社が携帯電話サービスを独占しており、2社目にあたるdu社が参入したのも2007年のことで、より多くの会社の参入にはまだ時間を要するようです。

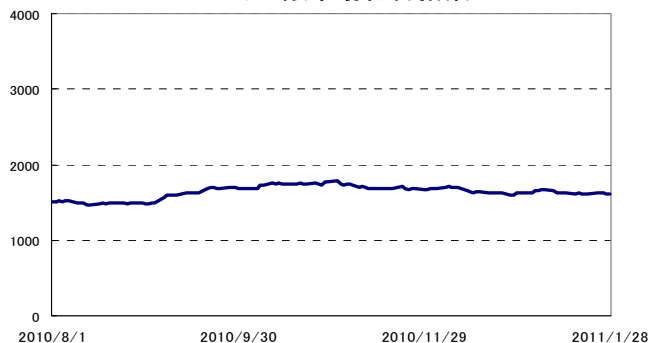


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

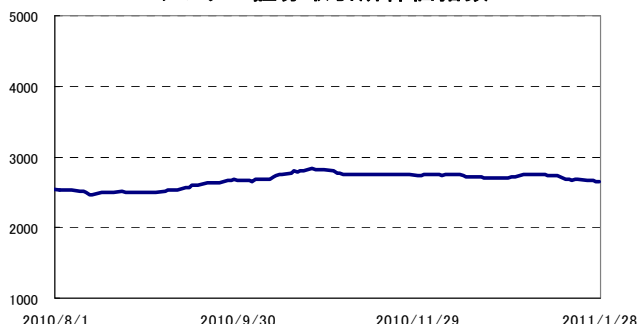


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

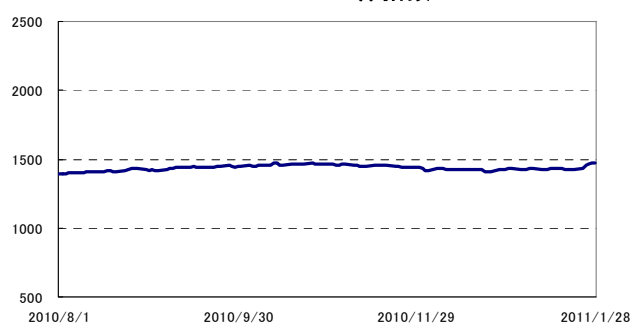
ドバイ金融市場総合指数



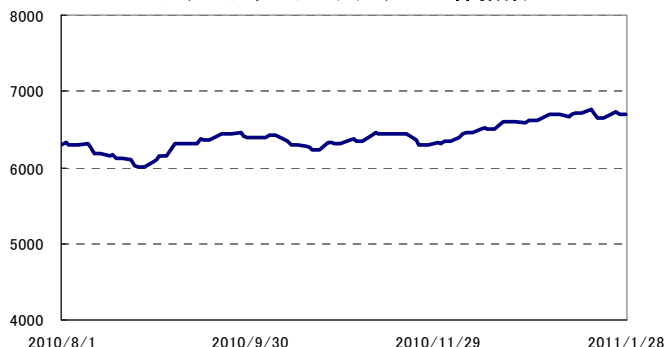
アブダビ証券取引所株価指数



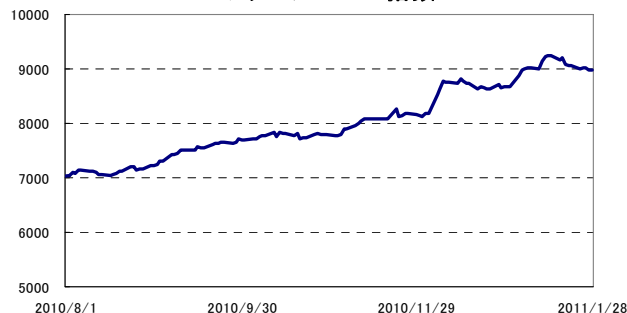
バーレーン全株指数



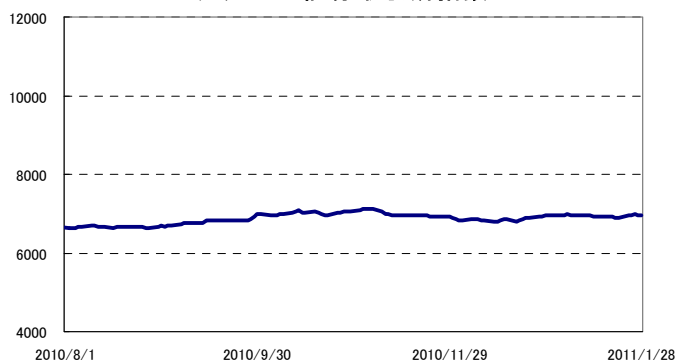
サウジアラビア タダウル全株指数



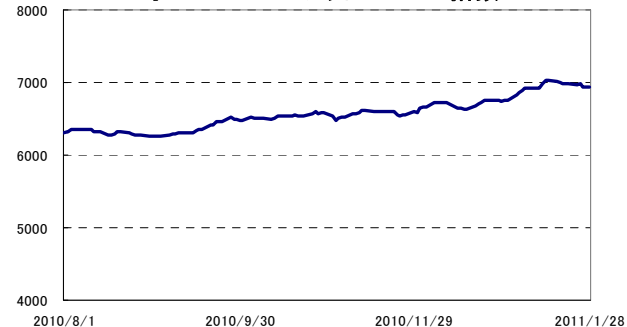
カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。